

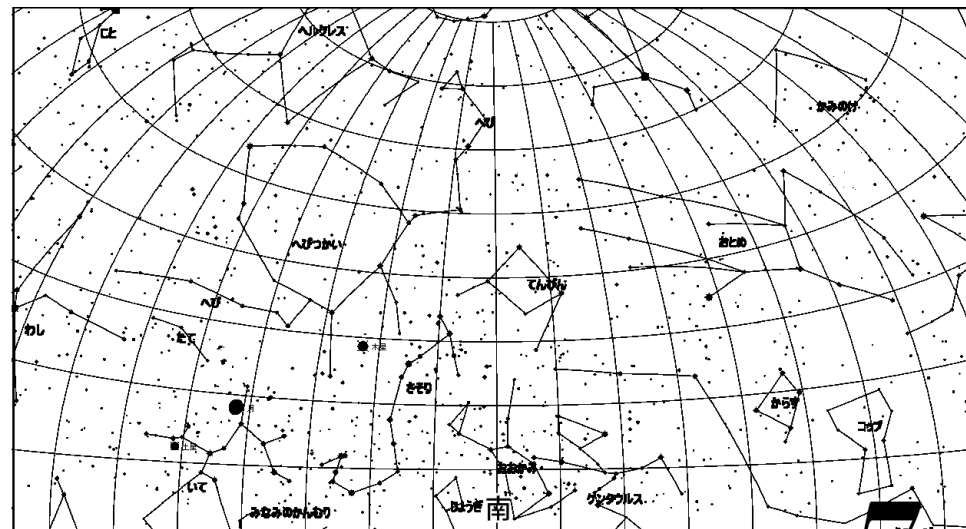
# 姫天だより

神話としてはみなさんも聞いたことがある、オリオンが自分の強さを自慢した為、女神ヘラがさしむけたサソリに刺されて死んでしまった為、星になってもサソリが怖いからサソリの見えない冬空で威張っているお話がありますが、同じような話が中国にもあります。「人生相見ざること参(しん)と商(しょう)のごとし」ということわざがあるのですが、これは参と商の兄弟がけんかをして、一生顔を見なかったことを行ったもので、参とはオリオンの三ツ星、商とはさそり座のアンタレスを中心にした三ツ星のことです。

## ★今月のテーマ 土星と木星を観る会

いよいよ環のある土星も観望会で見られる時期になりました。夏休みすぎまで土星と木星を観望できるチャンスです、まだ自分の目で木星の縞模様やガリレオ衛星、土星の輪を見たことのない方、観望会に参加して私たちと一緒に自分の目で太陽系最大の惑星と環のある土星を見てみませんか？

姫治公民館屋上にある天文台の15センチ屈折望遠鏡で見る木星は表面の縞模様、タイミングが良ければ大赤斑も見ることができます。もちろんガリレオ衛星も見られます。土星も有名な環だけではなく、大きな衛星も見ることができます。



7月15日午後8時の南の空

## -次回の天文クラブ-

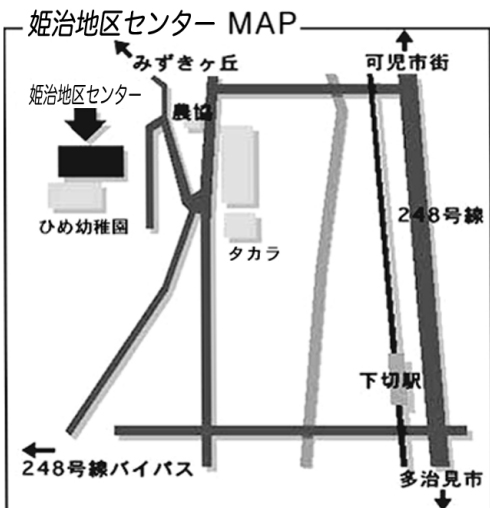
### ●7月の星を見る会

7月27日(土)午後7時30分より  
土星と木星の観察  
夏の星座教室

### ●夏の星まつり

8月3日(土)午後7時30分より  
旧暦七夕の星空を見よう  
夏の星座観察

姫治地区センター  
岐阜県可児市下切 1530  
☎0574-62-0104  
姫治天文台  
<http://himeziten.yu-yake.com/>



JR太多線下切駅より徒歩13分  
2019年7月1日発行

※観望会についてのお問い合わせは  
姫治地区センター (62-0104) まで

## ★今月の星座 さそり座

有名な星座で、星占いにも出てくる星座なのに、紹介するのは10年ぶりになります。7月下旬の午後8時ごろに真南の空、夏の天の川の一番幅広い部分が地平線にかかっている中、きれいにS字型に並んだ星の並びが見つかります。これが夏を代表する星座で皆さんも名前はよく知っている「さそり座」です。星占いにも出てくる黄道8番目の正座で昔から注目されていた星座です。岐阜県には海はありませんが、海辺でこの星座を見るとS字のカーブが大きな釣り針に見え、星の和名で「釣り針星」や「鯛釣り星」と呼ばれるのが実感として感じられます。夏休みに入りますので、海に遊びに行く機会があったらぜひ探してみてください。

さそりの心臓の位置には赤く輝く1等星「アンタレス」がありますが、この名はアンチアレス(火星に対抗するもの)からきているといわれています。さそり座は星占いに使われ黄道(太陽の通り道)に位置していますから、時々惑星がアンタレスに近づきます。火星が近づいた時には、どちらも赤く輝いて赤さを競い合っているようにみえますからね。ところが、実際には競い合っているように感じられるのは火星がアンタレスに近づく時に地球に大接近しているときでないと感じられません。それぐらいアンタレスが赤いので、「赤星」とか「酒酔い星」の名があります。また、お隣の中国では「火」(カ)・「大火」(タイカ)と呼ばれています。

アンタレスが赤いのは、星の寿命の最後の時期に当たる赤色巨星になっているからです。太陽の直径の740倍もある巨体は不安定で大きくなったり小さくなったりしています。そのため周期約1733日で0.9等星から1.8等星の間で半不規則に変光しています。裏面に続く